

「総合型地域スポーツクラブマネジメント実習Ⅲ」授業評価

保健体育講座・田中雅人

1. 授業の概要

この授業では，教職員・学生を対象にしたスポーツイベントを実施することによって，総合型地域スポーツクラブの果たす役割について理解する。また，ポスター・チラシ・プログラムなどの作成を通して，スポーツイベントを企画・運営するためのノウハウを習得するとともに，実施したイベントを的確に評価する能力を高めることを目的とした。到達目標は，1) 総合型地域スポーツクラブの役割について説明できる，2) 教職員・学生を対象にしたスポーツイベントを企画・運営できる，3) スポーツイベントの企画・運営を評価し，発表できる，4) 主体的にグループワークに取り組むことができる，の4つとした。

授業は，1) 複数のグループに分かれ，教職員・学生を対象にしたスポーツイベントを企画する，2) ポスター，チラシなどを作成し広報活動を行い，参加者を募集した後，プログラムを作成しスポーツイベントを運営する，3) スポーツイベントの企画・運営を評価し，報告会で発表する，という形で構成した。なお，この授業は，スポーツ健康科学課程のDP4：スポーツや健康に関する課題に関心を持ち，主体的に課題解決に向かって，理論と指導を連関させた取り組みができる（関心・意欲），およびDP5：多世代にわたる対人関係能力およびコミュニケーション能力を獲得し，豊かな地域社会づくりに貢献するための適切な行動ができる（態度）と対応している。

受講生は3回生18名で，3つのグループを作りスポーツイベントの企画・運営を行った。活動は，グループワークを中心としたが，各グループのリーダーによるリーダーミーティングを行い，グループ間の連携を図った。また，中間報告会，最終報告会を行い，グループワークの成果を発表した。なお，最終報告会には，次年度履修予定の学生（2回生）も参加し，情報を共有するとともに，次年度開催へ向けての動機づけを高める機会とした。イベント終了後には，報告書を作成した。報告書の内容は，表1に示したとおりである。

内容	ページ
1. シラバス	1
2. グループ編成	2
3. 活動の記録	3
4. イベント報告	
参加者データ	4
バトミントン大会	5
ドッジボール大会	20
バレーボール大会	39
5. 収支報告	53
6. 振り返り	54

表1

2. 授業評価

以下の14質問項目に対する4段階による評定と2項目の自由記述による調査を実施した。各質問項目の評定の平均値とヒストグラムを図1に示した。なお，得点の高い方がポジティブな評価を示す。

●授業の達成目標に対して

1. 総合型クラブの役割について説明できる。
2. スポーツイベントを企画・運営できる。
3. 企画・運営を評価し，発表できる。
4. 主体的にグループワークに取り組める。

●総合型クラブの目的に対して

5. 子どもの健全育成を図る。
6. 成人の健康・体力作りを図る。
7. チャンピオン・スポーツをサポートする。
8. 総合型クラブの設立や育成を支援する。

●DPに対して

9. 知識・理解。
10. 思考・判断。
11. 技能・表現。
12. 関心・意欲。
13. 態度。

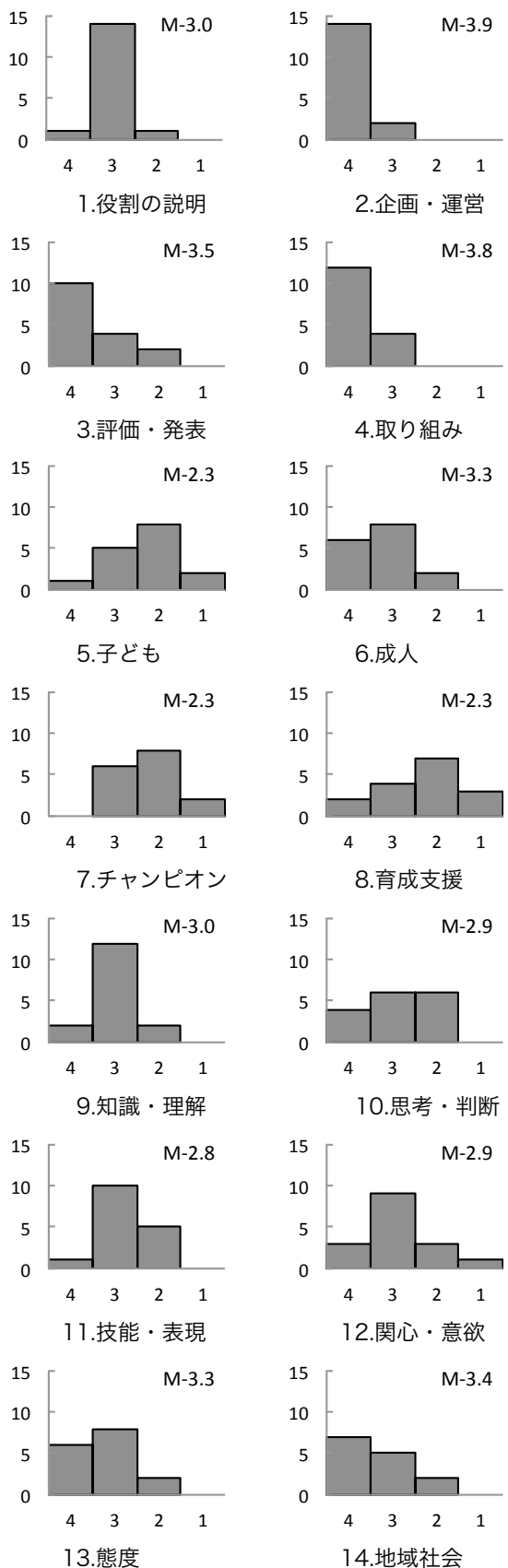
●地域社会からの期待に対して

14. 地域社会からの期待

●自由記述

15. よかった点，継続すべき点。
16. 改善すべき点。

図1



1) 参加者データ

3つのイベント参加者の総計は230人、男女比は2：1で、女性の参加がやや難しかったかもしれない。施設や時間との関係もあるが、男女別、男女混合など複数のクラスを準備できれ

ばよかった。参加者の年齢には、偏りはなかったが、学部別にみると、教育学部と工学部とで半数以上を占めていた。次回開催する際には、他の学部に対するPRが必要である。

2) 授業の達成目標に対する評価

この授業の4つの到達目標に対する評定値は、3.0～3.8であり、概ね目標を達成していたと思われる。「1.総合型クラブの役割について説明できる」という問いに対しての評定値が3.0であったのは、この授業で企画したイベントが主に学内向けであったことが影響しているのかもしれない。また、「2.イベントを企画・運営できる」と「4.主体的にグループワークに取り組める」の評定値は非常に高く、少人数のグループで、イベントの企画から運営までをすべて任せるといった方法が有益であったと思われる。1つのイベントを企画・運営するためには、十分な人数とはいえなくもなかったが、そのことがメンバー間の結束と達成感を高めたとも考えられる。「3.評価・発表できる」の評定にバラツキがあったのは、取り組み方に対する個人差が影響していると思われ、グループを構成するすべてのメンバーが等しく関与できる仕組みを考えなくてはならない。

3) 総合型クラブの目的に対する評価

「6.成人の健康・体力作りを図る」以外の項目は、低い評価となったが、この授業で企画するイベントの参加者が主に学生であることを考えると妥当な結果であると思われる。

4) DPに対する評価

「9.知識・理解」と「13.態度」で比較的高い評価が得られた。「企画・運営についての知識が身に付いた」「スキルアップになった」という記述から経験を通しての学びの場を提供できたと思われる。また、「主体性」「責任感」「達成感」「喜び」という記述が複数みられ、体験型学習の効果があったと考えられる。

4) 地域社会からの期待

「14.地域社会からの期待」に対する評定値は、3.4であった。一部ではあるが、学外からの参加者もあり、地域社会のニーズに対応した活動を行うことができた。今後は、さらに活動の場を学外へ拡大していくことが望まれる。

3. まとめ

イベントの企画、プレゼン、広報、運営、評価、報告書作成、報告会という一連のプロセスを体験することによって、実践的なスキルを習得することができた。また、報告会に次年度履修予定者も参加し、課題を共有できたことは、有益であったと思われる。